

商店街

2024.11.27

商店街を歩くのが好きである。この前、夏に引き続き、2回目の東京フィールドワークを行った。そのテーマの一つが、商店街である。東京には、〇〇銀座といった名称の商店街が、いくつもある。それぞれ、規模も雰囲気も違う。道行く人も違う。同じ東京でも、その土地によって、けっこう違うものである。

夏は、暑かった。暑い中をずいぶんと歩いた。今回は、気候的には恵まれた。暑くもなく寒くもなく、歩くにはよかった。夏は、吉祥寺、戸越銀座、谷中銀座、自由が丘、代官山などに行ってみた。そして、本家本元の銀座にも行った。銀座になると、もはや商店街ではない。それぞれに魅力がある。

今回は、下北沢、麻布十番、上野アメ横、竹ノ塚などを訪れた。これまた、それぞれのよさがあった。他にも、高円寺純情商店街、新大久保、巣鴨、十条銀座、砂町銀座などがある。これらは、次回の目的地となる。

商店街の何がいいのか。そこに住む人がわかるということだろうか。街並みや景観も好きである。それぞれに味わいがある。東京といっても、人が集まる場所に行ってしまうと、風情も何もない。銀座がそうである。大きな百貨店もそうである。スカイツリーなどもそうである。

同じ東京でも、麻布十番と上野アメ横では、対極の関係にあると言わざるを得ない。下北沢も違う。代官山も違う。こうして考えると、東京は、いくつもの顔をもっていることがわかる。それが、人を惹きつけるのかもしれない。そのとき、その目的によって、訪れる場所を選ぶことができる。すなわち、楽しい。興味が無い所には、近づく必要もない。

商店街には、人が必要である。活気がほしい。人がいない商店街は寂しい。商店街には、たいていお惣菜屋さんがある。コロッケやメンチカツが売っている。揚げ立てがおいしい。特段、買うものがあるわけではないが、歩いているだけでおもしろい。

今回は、一度行ってみたかった明治神宮にも行ってみた。人の多さにびっくりした。初詣のときには、ものすごいことになるのが想像できる。大鳥居をくぐり、歩いていき、ようやく本殿に近づいてきた。すると、空気が変わった。伊勢神宮や出雲大社ほどではないが、明らかに空気が変わるのがわかった。せっかくだからと、珍しくお守りを買った。

渋谷駅にも行った。駅の中には、ちょうどスクランブル交差点を見下ろすことができる場所がある。ここで写真を撮っている人が多い。今までだと、人が多いなあと感じたのだが、今回は違った。いろいろな所が人だらけで、スクランブル交差点の人の多さに驚かなくなっている自分がいた。

今回、気づいたことがある。人に酔わなくなってきた。慣れてきたのだろうか。それでも、商店街をゆっくりと味わいながら歩くのがいい。次のフィールドワークも楽しみである。